

令和元年度 児童発達支援  
保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年2月3日

事業所名:多機能型事業所 きらら館

保護者等数(児童数): 44名

回収数: 35名

割合: 79.5%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	0	0	2		・環境構成への配慮を引き続き行っていく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	1	0	6	・指導員資格の専門性がちょっと良く分からない。先生の数には足りていると思うが、保育士が少ないという印象である。	・職員数や専門性についての情報を分かりやすく伝えていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	0	0	2		・行動のしやすさ、分かりやすさに繋がるよう配慮を行っていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	0	0	0		・清潔な空間で安心して過ごす事ができるよう引き続き配慮を行っていく。
適切な支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	35	0	0	0		・アセスメントを実施し、ニーズや課題の分析、児童発達支援計画の作成を行っていく。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32	1	0	2		・児童発達支援ガイドラインに沿って、個々の発達に応じた支援内容を設定している。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	1	0	2	・言語訓練などの様子の報告がないため、支援計画通りになっているか分からない。	・支援内容について、丁寧な説明を行っていく。
	⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	33	0	0	1		・より個々の発達に応じた支援となるよう配慮していく。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	23	3	0	9	・保育園の行事にも付き添って頂き、フォローを頂いている。	・行事への参加等、交流の機会を増やしていく。
保護者への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	2	0	0		・丁寧な説明を心掛けている。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	34	1	0	0		・丁寧な説明を心掛けている。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	25	0	0	10	・行われているが、日程設定が参加しにくい。 ・障害の特性に対してのアドバイス等をもう少し学びたいと思う。 ・マザーズサロンは大変参考になった。仕事をしていると参加できない時期もあり、平日だけでなく、土曜日とか開催されると参加できる日もあったのではないかなと思う。	・開催日程について、より参加しやすいよう検討を行っていく。 ・特性の理解やかかわり方の学びに繋がるよう、家族支援を行っていく。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	30	5	0	0	・毎日その日にあった様子を丁寧に伝えて頂き、とてもありがたい。自分たちが気付かなかった事も気にかけて支援してくださるところが助かっている。	・日々の活動の様子を丁寧に伝え、共通理解を図っていく。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	2	0	0	・就学前や気になることがあった時など、すぐに面談して頂き、相談できている。保育園の担任の先生のようなグループのメインになる先生が少し分かりづらい。	・面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、助言を行っていく。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26	4	3	2	・他の保護者の話も参考になったり、子ども達の様子が聞けるのは嬉しい。 ・保護者の方々とお話する機会があったら有り難い。第二きらら館の方々との交流もあると良い。	・マザーズサロンの中で、保護者同士のかわり合いの機会を増やしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	2	0	2	・いつも迅速に丁寧に対応して頂いている。 ・相談した事に対して、声掛けをして頂き、できるようになったことがたくさんあるため、ありがたい。 ・幼稚園の事で相談したかった際、すぐに対応してくださり、不安が少し楽になった。	・相談等へ迅速、丁寧に対応できるよう、心掛けていく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	3	0	0		・丁寧な対応を心掛けていく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	1	2	2	・年間行事予定を頂けると予定が立てやすいので助かる。 ・連絡帳の写真いつも楽しみにしている。1年前からの成長もよくわかり、子どもも見るのが嬉しそうである。	・ホームページの更新頻度を増やしていく。 ・行事等の予定を早めに伝えられるよう配慮していく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	32	2	0	1		・個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25	0	0	10	・発生を想定した訓練というものがない。	・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。 ・実施のしかたについて説明や伝達を行っていく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	2	0	3		・定期的に避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	33	2	0	0	・とても楽しみにしている。 ・体力が不足しているようで疲れるということがある。 ・土日は残念がるほど楽しみにしている。 ・気分の変動があるが、いつもありがたい。	・充実した支援となるよう心掛けていく。 ・体調面への配慮を行っていく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	35	0	0	0	・丁寧に細かく対応して頂き、親も子ども支えられ安心できる。 ・色々な遊びが計画的で親としてはとても魅力的で満足。 ・いつもしっかりした対応をしてもらい、感謝している。	・充実した支援となるよう心掛けていく。

(注釈)  
i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。  
ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。  
iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。  
iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)  
○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえ」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数に対して、十分なスペースを確保し支援を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・適切に行われている。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・安心安全に過ごす事ができるよう配慮している。 ・子どもの様子に応じて、視覚的な情報を取り入れていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・掃除などこまめにし、清潔な環境作りを行っている。 ・棚上に物を置かず、整理整頓を徹底していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・支援内容に対して、反省や目標を挙げ、振り返りや見直しを行い、職員間でも共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け事業所評価を実施し、意見を元に改善に取り組んでいる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者評価、自己評価の結果をホームページで公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修の機会を増やし、資質向上に繋げている。 ・時期や子ども達の状況に応じて、必要な研修を行っている。 ・非常勤職員参加の事業所内研修の機会を増やし、支援内容の共通理解につなげている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・アセスメントを実施し、子どもの様子や保護者のニーズを分析した上で児童発達支援計画の作成を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・児童発達支援計画に沿って支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・チームの活動立案者が固定されているため、多くの意見を取り入れながらの立案を心掛けていく。 ・チーム間の共有や不足していることがあるため、立案した支援内容をチームで意見交換や共通理解しながら支援にあたっていく。
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			・季節に応じた活動の取り入れなど、年間計画に照らし合わせながら、子ども達の現状に応じて活動内容の工夫を行っている。 ・固定化されないよう、振り返りを行いながら支援にあたっている。
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせる計画となるよう配慮している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・活動案を作成し、共通理解を図りながら、必要に応じて子ども達の現状や活動内容について話し合いを行っている。 ・打ち合わせの時間を十分に確保できないこともあるため、充実した支援内容となるよう、打ち合わせの時間を十分に取れるよう取り組んでいく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・活動終了後、支援内容や、子どもの行動についてなど、職員間で気づいた点を共有している。 ・十分に話し合う時間を確保できないこともあるため、活動毎に行えるよう心掛けていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録を取る事を徹底し、気付きや改善点について、ケース検討やミーティングを行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での状況等を説明している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・必要に応じて連絡を取り、子どもの現状を伝え、連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・現在は対象児童がいない。
関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			・現在は対象児童がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・必要に応じて連絡会を実施したり、活動の様子を見学できる機会を設けたりし、支援内容の情報共有や相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・必要に応じて面談を実施したり、活動の様子を見学できる機会を設けたりし、支援内容の情報共有や相互理解を図っている。 ・就学に向けて必要に応じて情報交換を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修会への参加を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・保育園児と同じ空間で活動する機会や行事への参加の機会を設けている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・可能な限り参加し、参加が難しい場合は文書でのやり取りを行っている。
関係機関や保護者との連携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳、送迎時を活用し、子どもの様子や課題等についてこまめに伝え合い、必要であれば写真を連絡帳に貼るなどして視覚的にも伝わりやすいように工夫を行っている。 ・マザーズサロンで療育参観を行ったり、保護者へ支援の様子を伝えたりする機会を作っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・マザーズサロンで、子ども達へのかかわり方や声掛けについてなど、特性の理解や学びに繋がるよう、家族支援を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・丁寧な説明を心掛けている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・丁寧な説明を心掛け、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施するなどし、その都度助言や支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・父母の会の活動は行っていないが、療育参観や親子活動の際、保護者同士かかわる機会を設けている。 ・保護者同士のかかわりや情報交換をできる場の提供、機会を増やしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・迅速、適切な対応を心掛けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月、トピックスや活動予定表に、活動の様子を写真で載せ発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・意思疎通や情報伝達のため、配慮をしながら支援を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域住民の方を行事に招待し、共有の機会を設けている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染者対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。</li> <li>・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・立会い訓練を2回、自習訓練を2回の計4回行っている。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬については毎日連絡帳にて確認を行い、予防接種やてんかん発作等の状況についてはその都度確認し、周知している。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ、医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束については行っていない。</li> </ul>